

ASSOCIATION OF
MUSICAL ELECTRONICS INDUSTRY

AMEI

1998年11月20日発行

Vol.8

「MIDI WORLD '98」期待通りの大盛況!!



「MIDI WORLD '98」が東京ビッグサイト西3ホールにて、
社団法人音楽電子事業協会と日本経済新聞社の共催によって、
平成10年7月24・25・26日（金土日）盛大に開催された。話
題に富んだセミナーや素晴らしいコンサート等のイベントが
数多く実施され、多数のお客様が来場された。

CONTENTS

「MIDI WORLD '98」結果報告.....2・3・4	新任委員長インタビュー8・9
VIRTUAL MIDI WORLD 4	MP WG の活動報告10
NAMM ビジネスツアー募集 5	AMEI よりのお知らせ11
MIDI 検定試験の実施決まる6・7	AMEI 会員名簿12

MIDI WORLD '98

開催結果報告

開催結果

名 称：MIDI WORLD '98 ～音楽・夢・ネットワーク～
会 期：1998年7月24日 (金) から26日 (日) 10:00-17:00
会 場：東京国際展示場 東京ビッグサイト 西3ホール (東京都江東区有明3-21-1)
主 催：(株)音楽電子事業協会、日本経済新聞社
後 援：通商産業省、文化庁
協 力：(財)マルチメディアソフト振興協会、日本楽器フェア協会、日経BP社、日経ホーム出版社、テレビ東京 (順不同)
出展規模：24社・団体 185小間
同時開催：家族ではじめるパーソナル・マルチメディア「ばそまる'98」(主催：日本経済新聞社)
入場者数：7月24日 (金) 雨のち曇 13,696名
7月25日 (土) 曇のち雨 18,778名
7月26日 (日) 雨のち晴 20,693名
合計 53,167名 [前回 ('97年度) 45,850名]

出展社一覧 24社・団体 (五十音順)

アップルコンピュータ株式会社
株式会社インターネット
株式会社オーディオテクニカ
社団法人音楽電子事業協会
カシオ計算機株式会社
株式会社カメオインタラクティブ
株式会社河合楽器製作所
有限会社キュービックエナジー
株式会社コルグ
島村楽器株式会社
株式会社シーミュージック
学校法人尚美学園 東京ミュージック&メディアアーツ尚美

株式会社第一興商
ティアック株式会社
株式会社テレミディック
日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校
学校法人電子学園 日本電子専門学校
株式会社フックアップ
松下電器産業株式会社
ミュージックノート株式会社
有限会社ミュレイディア
ヤマハ株式会社
株式会社リットーミュージック
ローランド株式会社

【主催者イベント】

■イベントステージ

会場：MIDI WORLD'98会場内ステージ

○7月24日 (金)

11:00-12:00 コルグPresents

「KORG ALLSTARS "Special Live"」

出 演：CALVIN EDWARDS QUARTET

13:30-14:30 ヤマハPresents

「EOS DAY Special」 出演：藤田宜久、石黒知寛

16:00-17:00 カワイPresents

「カワイ ニュー・デジタルピアノ・プレゼンテーション」

出 演：クリヤ・マコト・ユニット

○7月25日 (土)

11:00-12:00 コルグPresents

「KORG ALLSTARS "Special Live"」

出 演：CALVIN EDWARDS QUARTET

13:30-14:30 アップルコンピュータPresents

「ヌグマトピア ～ダンスとMIDIとMacintosh」

出 演：PoetyParty

16:00-17:00 ローランドPresents

「デスクトップミュージッククリエイターズ トークライブ」

「DTMサミット@MIDI WORLD'98」

出 演：古代祐三、坂上暢、ブラザーナオ、佐藤天平

○7月26日 (日)

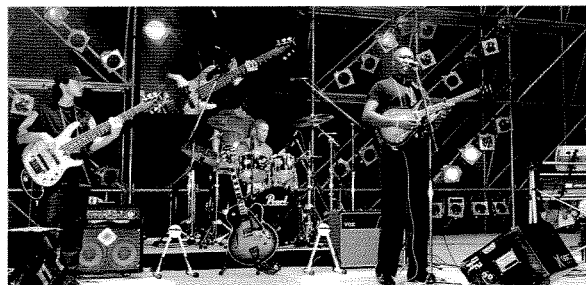
11:00-12:00 コルグPresents

「KORG ALLSTARS "Special Live"」

出 演：超絶変態技巧楽団 "Sugiura Philharmony Orchestra"

13:30-14:30 カメオインタラクティブPresents

「Cubase VSTエバンジェリスト、Rodney Orpheus氏来日！



Steinberg Cubase VSTワールドの全貌が明らかになる。」

出 演：Rodney Orpheus

16:00-17:00 ヤマハPresents

「向谷実&神保彰HYPER MIDI SESSION」

出 演：向谷実、神保彰

■実施セミナー セミナールーム1

デジタル楽器ユーザーやデジタル音楽業界に関するセミナーを企画、開催した。

○「MIDIセミナーVol.5～インターネットで変わる音楽ビジネスのトレンド～」

7月24日 (金) 13:00-14:30 参加料：2,500円

主 催：(株)音楽電子事業協会ソフトウェア委員会
マーケティング部会

講 師：小松義光氏 (株)シンタックス代表取締役)

寺島明人氏 (DTMマガジン編集長)

野津 修氏 (コンピュータ・ミュージックマガジン編集長)

松中康夫氏 (キーボードマガジン編集長)

参加者：約80名

- “デジタルオーディオセミナー” 参加料：各日1,500円
主 催：(株)音楽電子事業協会デジタルレコーディング委員会
講 師：古山俊一氏 (マルチメディアクリエイター)
7月24日 (金)15:00-16:00/7月25日 (土)13:00-14:00
/ 7月26日 (日)13:00-14:00
「これで解った、デジタルオーディオ」
7月24日 (金)16:00-17:30
「激論！デジタルレコーディングの展望 ～メーカーvsユーザーのインタラクティブトークバトル」
参加者：約70名



- “AMEI主催 MIDI認定制度の紹介”
7月25日 (土) 11:00-12:30
主 催：(株)音楽電子事業協会MIDI認定制度研究委員会
講 師：大浜和史氏 (日本シンセサイザー・プログラマー協会理事長)
篠田元一氏 (日本シンセサイザー・プログラマー協会理事)
参加者：約100名

- “MIDI DATA 公開クリニック”
7月25日 (土) 14:30-15:30
講 師：大浜和史氏、氏家克典氏、篠田元一氏
参加者：約80名

- “プロデューサーというお仕事”
7月25日 (土) 16:00-17:00 参加料：2,000円
講 師：高橋健太郎氏 (音楽プロデューサー)
今井裕氏 (音楽プロデューサー)
伏谷博之氏 (タワーレコード (株) デジビズ事業部マネージャー)
参加者：約50名

- 「インターネットデビューの方法、教えます。」
7月26日 (日) 14:30-15:30 参加料：2,000円
講 師：尾島由郎 (音楽プロデューサー、コンポーザー)
参加者：約50名

■出展社セミナー 会場：セミナールーム2,3

出展社によるセミナー。自社製品の解説、デモなどが行われた。

- 24日 (金) 13:00-14:00
コルグ／「Digital PerformerとKORG 1212 I/Oによるデジタルレコーディングクリニック」
講 師：立岩潤三氏 協力：Musetex
カメオインタラクティブ／「全く新しいデジタルオーディオプログラミングツール “MSP” 発表」

- 24日 (金) 15:00-16:30
島村楽器／「電子オルガンや電子ピアノをコンピュータと接続する？ -Harmonyシリーズを利用した音楽の幅広い可能性-」
講 師：倉持淳一氏 (島村楽器)、清水美希氏・野村寿男氏 (カメオインタラクティブ)
ヤマハ／「XG WORKSHOP for MU128」新XG音源MU128徹底解剖クリニック
講 師：氏家克典氏 (アイデックス)

- 25日 (土) 13:00-14:00
コルグ／「Cubase VST/24 4.0 & KORG1212 I/Oによるスーパー・デモンストレーション&クリニック」
講 師：松前公高氏
ヤマハ／「XG WORKSHOP for XGWorks V2.0」作曲ソフトXGWorks V2.0活用セミナー
講 師：米谷知己氏 (ディプス)

- 25日 (土) 15:00-16:30
ヤマハ／「XG WORKSHOP for XGWorks V2.0」作曲ソフトXGWorks V2.0活用セミナー
講 師：米谷知己氏 (ディプス)
島村楽器／「オリジナルミュージックコンピュータ Harmony & Symphonyによる音楽人へのソリューション提案セミナー [Win編]」
講 師：高杉晃氏 (島村楽器)、小松浩二氏 (エプソンダイレクト)
協 力：エプソンダイレクト

- 26日 (日) 13:00-14:00
コルグ／「デジタルMTR D8によるデジタルレコーディング入門講座」
講 師：野村大輔氏
島村楽器／「オリジナルミュージックモデルMacHarmony&MacSymphonyによるコンピュータと音楽の楽しみ方提案セミナー [Mac編]」
講 師：倉持淳一氏 (島村楽器)、小西達矢氏 (アップルコンピュータ)
協 力：アップルコンピュータ

- 26日 (日) 15:00-16:30
コルグ／「ACIDとKORG 1212 I/Oによるデジタルレコーディングセミナー “オリジナルCDを作ろう”」
協 力：フックアップ
ヤマハ／「XG WORKSHOP for SW1000XG」パソコンを使ったMIDI+ハードディスクレコーディング音楽制作セミナー
講 師：上杉尚史氏 (アイデックス)

【関連企画】

■MUSIC SCHOOL CORNER

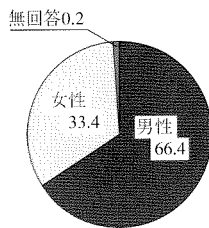
音楽専門学校の出展を募り、コーナーを設置。学生・生徒募集活動の場を提供した。
参加校：学校法人尚美学園東京ミュージック&メディアアーツ尚美
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校
学校法人電子学園／日本電子専門学校

■AMEIブース

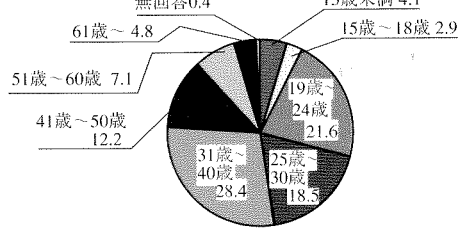
AMEIの活動報告を中心とした主催者ブースを構成した。
○1394/USBによる次世代MIDIのデモンストレーション
次世代の高速通信技術を利用した次世代MIDI標準化案の紹介。
○MIDIで実験！ “ホームシアター” MIDI TIME CODE”
MIDIの制御信号としての役割を、パソコンとビデオ、照明機器を使った実験で紹介。
(企画協力：早稲田大学 山崎芳男教授)

来場者アンケート集計

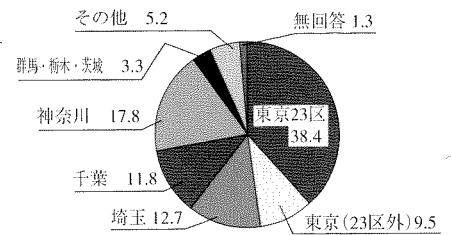
Q1 性別



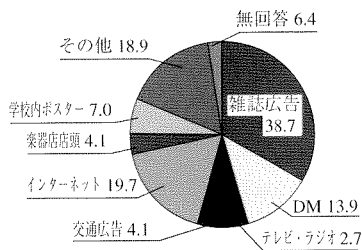
Q2 年齢



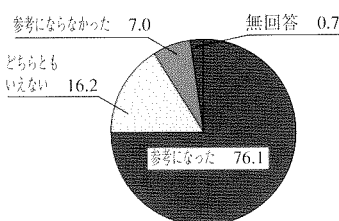
Q3 自宅住所



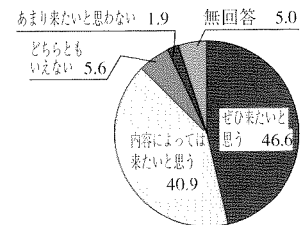
Q4 開催認知経路



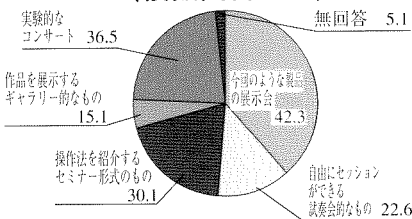
Q5 参考程度



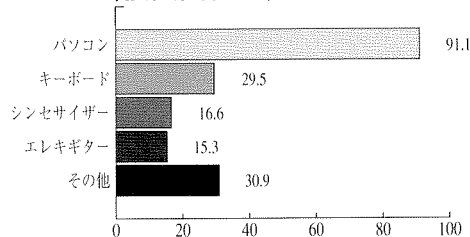
Q6 来年度来場の意向



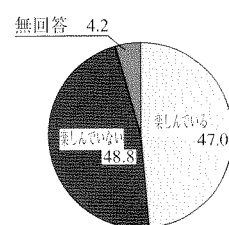
Q7 希望するイベント
(複数回答あり)



Q8 持っている楽器・機器
(複数回答可)



Q9 DTMを



VIRTUAL MIDI WORLD

インターネットで行われる仮想展示会。6月24日(水)～8月31日(月)までの期間限定で、出展社は自社製品やサービスをホームページで紹介した。また開催期間中、毎日MIDIに関する最新情報を提供していくほか、COOL MIDI SITEコンテスト、豪華賞品が当たるリンクラリーなども実施した。

ページビュー実績は2ヶ月強の期間で目標の約3倍、約110万を達成し大成功であった。ホームページは企画によって、大きな広告宣伝媒体となる事が実証された。実行委員のメンバーの企画力、実行力に改めて敬意と感謝を表したい

ページビュー実績

期間	日数	期間実施	累計	1日当り	
6/24～7/26	33	621,496	—	18,833	(MIDI World 開催前&開催中)
7/27～8/31	36	484,343	1,105,839	13,454	(開催後)
合計	69	—	1,105,839	16,027	

■出展社

- | | | |
|---|--|--|
| <p>あ 株式会社アイシックス
有限会社アイズ
アップルコンピュータ株式会社
株式会社石橋楽器店
株式会社インターネット
エディロール株式会社
株式会社エヌトウケージャパン
株式会社大阪有線放送社
株式会社オーディオテクニカ</p> <p>か カシオ計算機株式会社
株式会社カメオインタラクティブ
カモンミュージック株式会社
株式会社河合楽器製作所
有限会社キュービックエナジー
株式会社コルグ</p> | <p>さ 株式会社シーミュージック
島村楽器株式会社
学校法人 尚美学園 東京ミュージック&メディアアーツ尚美
株式会社シンタックス</p> <p>た 株式会社第一興商
株式会社タイトー
ティアック株式会社
株式会社T D K
株式会社ディスクバリーファーム
株式会社テレミディック
株式会社電波新聞社</p> <p>な ニフティ株式会社
日本工学院専門学校/日本工学院八王子専門学校
日本シンセサイザープログラマー協会
日本電気株式会社/BIGLOBE
学校法人電子学園/日本電子専門学校
日本ビクター株式会社</p> | <p>は 株式会社フェイス
株式会社フックアップ</p> <p>ま 松下電器産業株式会社
株式会社ミュージックネットワーク
ミュージックノート株式会社
有限会社ミュレイディア</p> <p>や ヤマハ株式会社
ヤマハ音楽院
株式会社ヤマハミュージックメディア</p> <p>ら 株式会社リットーミュージック
株式会社リムショット
ローランド株式会社</p> |
|---|--|--|

AMEI MIDI 規格委員会主催 1999 NAMM INTERNATIONAL MUSIC MARKET ビジネスツアー募集

MIDI規格委員会では昨年度に引続き、本年度もNAMMビジネスツアーへの参加募集を下記の通り実施いたします。

このビジネスツアーの目的は、日頃MMAとの協議に参加されているAMEI会員においては、例年NAMMショー期間中に開催されるMMAとの会議への参加、その他のAMEI会員においては、1999 NAMM International Music Market の視察です。

ちなみに昨年度のNAMMショーは出展者1,193社、入場者

63,160人でした。また、今回のMMAとの会議においては、SMF, GM2のMMAでの最終審議、MPEG-4へのDLS2, GMの導入、MMA総会開催時でのAMEIからの次世代MIDI 1394/USBのデモ及びプレゼンテーション等々、多くのテーマがあり、MIDI規格委員会それぞれの部会、ワーキンググループでご活躍いただいております皆様のご参加をお願いいたします。

催行期間：1999年1月27日～2月2日 7日間／5泊7日

ツアー費用：¥208,000

ホテル：インターコンチネンタルLA (会場まで約3km)
二人部屋、バス付き、会場へのシャトルバスあり
一人部屋追加料金¥75,000

◎その他都市、期間延長などのアレンジも可能ですので、ご相談下さい。

日数	月 日	発着時間	発 着 地	交通機関	摘 要
1	1月27日 (水)	16:35 10:00	東京(成田)発 ロサンゼルス着	JL-066 専用車	日本航空にて、ロサンゼルスへ 着後、市内視察 昼食は、ショッピングセンター等で各自 ロサンゼルス泊
2	1月28日 (木)		ロサンゼルス滞在		朝食：ホテルにて NAMMショー視察 ロサンゼルス泊
3	1月29日 (金)		ロサンゼルス滞在		朝食：ホテルにて NAMMショー視察 / MMAとのTechnical Meeting ロサンゼルス泊
4	1月30日 (土)		ロサンゼルス滞在		朝食：ホテルにて NAMMショー視察 / MMAとのFormal Meeting ロサンゼルス泊
5	1月31日 (日)		ロサンゼルス滞在		朝食：ホテルにて NAMMショー視察 / MMA総会及びAMEIプレゼンテーションの開催 ロサンゼルス泊
6	2月1日 (月)	11:40	ロサンゼルス空港へ ロサンゼルス発	専用車 JL-061	朝食：ホテルにて 日本航空にて東京(成田)へ 機中泊
7	2月2日 (火)	16:15	東京(成田)着		着後、解散

上記費用に含まれるもの

- * 成田/ロサンゼルス間エコノミークラス往復航空運賃
- * 上記ホテル宿泊費
- * 空港、ホテル間の往復送迎バス、及び到着日半日ロサンゼルス市内観光
- * 団体行動中のチップ
- * 期間中の朝食5回
- * 添乗員費用
- * 海外旅行傷害保険2,000万円(団体掛け)
- * 米国空港税

上記旅行費用に含まれないもの

- * 国内交通費、渡航手続き費用、旅券代、成田空港使用料、海外旅行傷害保険(個人掛け)、NAMM International Music Market 入場券、その他個人的用途に関わる費用

●支払条件

本旅行条件は、平成10年10月28日現在の諸料金を基準とした、15名以上の団体の場合ですので、将来航空運賃、外国為替相場、旅行日程又は参加人員等に変動を生じた場合は、変更させていただきます。

上記事項以外は、郵船トラベル株式会社旅行業約款に準じます。

●取消料

出発日の30日前～16日前までの取消	30%
〃 15日前～3日前までの取消	50%
〃 前々日以降の取消	100%

●お申込みは：12月15日までAMEI事務局あてお申込み下さい。

●主 催：社団法人 音楽電子事業協会 MIDI 規格委員会
〒101-0061 千代田区三崎町 2-16-9 イトービル TEL：03-5226-8550 FAX：03-5226-8549

●旅行社：郵船トラベル株式会社
〒101-0051 千代田区神田神保町2-2 波多野ビル TEL：03-5213-6215 FAX：03-5213-6228

●お問い合わせ先：AMEI事務局(担当 神川)
TEL：03-5225-8550 FAX：03-5226-8549 amei@po.iijnet.or.jp

MIDI検定試験の実施決まる

ーコンピュータミュージックの共通ライセンスー

目 的

発展を続けるマルチメディア社会の中で、文字や映像などとならび、重要な要素の一つに音があげられます。そしてマルチメディアの音において中心的な役割を果たしているのが、いわゆるMIDI規格です。

MIDI規格は、電子楽器の制御プロトコルとしての活用はもとより、電子音楽のソフトウェア、コンピュータネットワークでやりとりされる音楽データや、通信カラオケの送受信にいたるまで、電子音楽の事実上の標準規格となっています。

MIDI音楽発展と共に、MIDIを使った音楽制作の現場では、MIDIに関する知識を持ち、データの制作・監修ができる人材が求められています。

こうした状況をふまえ、社団法人音楽電子事業協会ではMIDIを理解し活用できる人材育成を目的に、MIDIに関する理解度を認定するMIDI検定試験を実施いたします。

初年度の平成10年度MIDI検定試験は、MIDIの基礎知識及びその応用能力をはかる3級（MIDI規格1.0に準拠、スタンダードMIDIファイル実用レベル）のみ実施します。

概 要

主 催：社団法人音楽電子事業協会

共催団体：日本シンセサイザー・プログラマー協会

協賛企業：音楽電子事業協会 会員各社

試験概要：

- | | |
|---------|---|
| 1) 試験資格 | 学歴・年齢・性別・国籍等に制限はありません |
| 2) 受験料 | 3級 2,500円（消費税含み）（振り込み手数料別） |
| 3) 試験方法 | 筆記試験（所用時間1時間30分） |
| 4) 合格基準 | 100点満点のうち70点以上（問題数100問） |
| 5) 実施日程 | 平成11年1月17日（日）〈全国一斉〉 |
| 6) 結果通知 | MIDI認定制度事務局にて採点
合格発表11年2月10日 結果は郵送にて受験者に通知 |
| 7) 申込期間 | 平成10年11月1日（日）から平成10年12月10日（木） |
| 8) 申込方法 | 受験料振り込みの上、受験願書、受験票を記入の上、MIDI検定試験事務局まで郵送、団体申込み（学校、団体、企業）の場合は受験願書、受験票に受験料を添えて各窓口へ申込み。 |

試験内容：（初年度・平成10年度は3級のみ実施）

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 〈3級〉 MIDI規格1.0に準拠 | スタンダードMIDIファイル 実用レベル |
| (1) 「MIDIの基礎」 | 音楽情報の伝達、バイトとビット、MIDIケーブルの接続 |
| (2) 「MIDIメッセージ」 | MIDIチャンネル、ステータスとデータ、メッセージの種類 |
| (3) 「ノートデータ」 | ノート オンオフ、ベロシティ、ゲートタイム、タイミング |
| (4) 「コントロール」 | 音色の切り替え、ピッチベンド、コントロールチェンジ |
| (5) 「システムメッセージ」 | システム&メーカー・エクスクルーシブ |
| (6) 「MIDIの知識」 | MIDIの歴史、アナログシンセの基礎、GM&SMF |

告知及び受験申込み先

●受験要領・内容の告知

- 協力校（コンピュータミュージック専門学校等）及び有名楽器店にて（ポスター・チラシ）
- 主要コンピュータ誌・音楽雑誌の誌上にて、受験要領・内容等を告知。
- ホームページ URL：<http://www.amei.or.jp/>

●「受験案内及受験応募用紙の冊子」の申込先

- 協力校、有名楽器店、有名PCショップ
- 社団法人音楽電子事業協会 「MIDI 検定試験」事務局
（東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL 03-5226-8550）

●受験申込先（平成10年11月1日より12月10日）

- 社団法人音楽電子事業協会 「MIDI 検定試験」事務局
（東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL 03-5226-8550）

[協力校・試験会場]

MIDI 検定協力校 (18会場)

会場コード 試験会場及び所在地・TEL

<東京地区>

- 101 アイデックスミュージックアカデミー
(東京都台東区蔵前4-21-9 蔵前坂口ビル7F:
TEL 03-3865-7911)
- 102* 東京コミュニケーションアート専門学校
(東京都江戸川区西葛西6-29-9:
TEL 03-3688-6597)
- 103 シリコンハリウッド 学園
(東京都港区虎ノ門1-16-47パン虎ノ門ビル2F:
TEL 03-3508-2021)
- 104* 東京ミュージック&メディアアーツ尚美
(東京都文京区本郷4-15-9:
TEL 03-3814-8761)
- 105 日本工学院専門学校
(東京都大田区西蒲田5-23-22:
TEL 03-3732-1111)
- 106 日本工学院八王子専門学校
(東京都八王子市片倉町1404-1:
TEL 0426-57-3111)
- 107 日本電子専門学校
(東京都新宿区百人町1-25-4:
TEL 03-3369-9333)
- 108 パン スクール オブ ミュージック
(東京都渋谷区代々木1-18-18:
TEL 03-3373-7831)
- 109 総合学園 ヒューマン・アカデミー東京校
(東京都新宿区高田馬場4-4-2:
TEL 03-5386-2436)
- 110 ミュージック・カレッジ・メーザーハウス
(東京都目黒区大橋2-16-23:
TEL 03-3468-2145)

111

(財) ヤマハ音楽振興会 ヤマハ音楽院
(神奈川県川崎市中原区1184:
TEL 044-411-3856)

<大阪地区>

- 201 学校法人 大阪音楽学園
キャットミュージックカレッジ専門学校
(大阪府吹田市垂水町3-29-18:
TEL 06-369-1101)
- 202 ディプス/コンピューターミュージック
クラブ Dee
(大阪市西区北堀江1-5-2 四ツ橋新興産ビル5F:
TEL 06-393-4900)
- 203 職業訓練法人 大阪ヒューマン・アカデミー
(大阪市淀川区東三国3-10-19:
TEL 06-393-4900)

<名古屋地区>

- 301* 名古屋音楽大学
(名古屋市中村区稲葉地町7-1:
TEL 052-411-1115)
- 302 名古屋自由学院短期大学
(愛知県西春日井郡師勝町熊の庄古井281:
TEL 0568-24-0321)

<仙台地区>

- 401 菅原学園・専門学校デジタルアーツ仙台
(仙台市青葉区本町2-11-10:
TEL 022-221-6534)
- 402 学校法人 日本コンピュータ学園
東北電子計算機専門学校
(仙台市青葉区花京院1-3-1:
TEL 022-224-6501)

*印の試験場は団体受験専用会場なので、個人の受験はできません。

「MIDI検定 3 級公式ガイドブック」

●平成10年度 第1回MIDI検定試験(平成11年1月17日)のための3級公式ガイドブック

●発行/監修/販売 社団法人音楽電子事業協会
制作/編集/著作 日本シンセサイザープログラマー協会

●内容

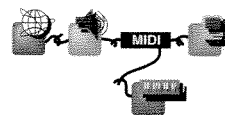
- 第1章 MIDIの基礎
「MIDIとは」「情報の伝達」「デジタルとは」「MIDIの接続」
- 第2章 ノートデータ
「ノートオン オフ」「ベロシティ」「ゲートタイム」「タイミング」「ドラム音源」
「コラム:プログラミングを音楽表現に活かす」
- 第3章 MIDIメッセージ
「MIDIバイト」「MIDIチャンネル」「チャンネルメッセージ」「システムメッセージ」
「MIDIバイトの送信の実際」
- 第4章 コントロール
「MIDIにおけるコントロールとは」「プログラミングチェンジ」「ピッチベント」
「コントロールチェンジ」「セットアップの重要性と仕組み」
「コラム:コントロールとセンスの密接な関係」
- 第5章 システムメッセージ
「システムエクスクルーシブとは」「MIDIインプリメンテーションチャート」
- 第6章 MIDIの基礎
「MIDIの歴史」「アナログシンセと音の要素」「SMF/GM」「AMEI/社団法人音楽電子事業協会について」
「JSPA日本シンセサイザー・プログラマー協会について」

●価格 定価¥1,500(税別)(会員価格あり)

●販売場所・発売時期 平成10年11月1日
有名楽器店・有名PCショップ
協力校(MIDI検定試験会場校)
社団法人音楽電子事業協会 会員会社
社団法人音楽電子事業協会「MIDI検定試験事務局」

MIDI LICENSE

MIDI検定 3級 公式ガイドブック



発行: (財) 音楽振興会 (AMET)
制作: 日本シンセサイザー・プログラマー協会 (JSPA)

Q 1 : 「MIDI認定制度研究委員会」発足の背景と目的をお聞かせ下さい。

A 1 : AMEIが社団法人としてスタートして間もない頃、MIDI WORLDの企画を立案していた折に、「MIDIという技術を一般に広く普及・啓蒙することを目的とした活動も同時に推進すべきだ」との正副会長からの提案がありまして、それが発端になりました。

Q 2 : いつごろから準備を始められたのですか？

A 2 : 当初はAMEI設立2年度目の実施を目標にAMEI業務委員会のテーマとして準備をしていましたが、本格的な検討は3年度目に認定制度準備委員会が発足されてから開始されました。特に、JSPA（日本シンセサイザープログラマー協会）の大浜理事長の参加によって、準備作業は一気に加速されました。

Q 3 : 準備段階のご苦労をお話頂けますか？

A 3 : 各種の検定制や認定制度の研究、一般書店で販売されているMIDI関連書物の実態把握、更には、認定制度の趣旨についての各企業の反応や意見を聴取するなどしましたが、その一方で、認定制度に対する意見を広く求めるために、企業トップや学術学識経験者あるいはこの制度の実施に意欲的な学校法人責任者の方々による評議委員会を開催いたしました。

また、このような情報収集活動と並行して、JSPAの絶大な協力の下で、グレード設定や試験問題、ガイドブックの制作にも着手しましたし、また、先般開催されたMIDI WORLD'98では認定制度模擬セミナーを実施し、予想を上回る一般の参加を得て、この制度に対する関心の深さを確認できました。

Q 4 : 実施に向けての準備状況はいかがでしょう？

A 4 : 第1回目の検定試験は来年1月17日に開催することが決定されたのですが、学校法人に対して検定会場の提供を申し出たところ、全国から20にもおよぶ学校法人から検定試験の実施や会場提供の申し込みを頂くことができました。

すでに、学校法人代表の方々による企画委員会も開催され、実施に向けての詳細な打ち合せや、一般受講者向けに有力音楽専門誌を中心に認定制度実施の内容を紹介する手はずや、楽器店、パソコンショップへの協力要請も終えて、ほぼ試験の開催を待つばかりとなりました。

Q 5 : ところで、認定制度の概要はどのようなものですか？

A 5 : 具体的には、「第1回MIDI検定試験」という名称で、平成11年1月17日(日)に全国の試験会場で一斉に行われます。詳細はP.6～7をご参照下さい。



平成10年度 梅蔭 正委員長

Q 6 : 今現在の応募状況はいかがでしょう？

A 6 : 今年度がスタートであり、しかも3級の実施ですから目標の想定が大変難しいのですが、募集を始めて以来大変な反響で、模擬セミナーの反響や事務局への問い合わせが連日届いている状況から推測して、応募者は2,000名を超える勢いです。初年度からこの規模は、マルチメディア系では大成功です。

Q 7 : 今後の方向と抱負をお聞かせ下さい。

A 7 : 先ほども申し上げましたように、もはや実施を待つばかりになりましたが、正副会長や評議員の皆さんを始めとして多くの方々のご指導を頂きましたことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

まずは開催初年度の目標をクリアさせ、二年度目に向けては上級の資格も導入してMIDIの技術者を育成しつつ、将来に向けては認定者とAMEI相互の情報交換を可能にするMIDIクラブを設立するようなことも考えております。最終的には、AMEIの事業基盤に本格的に位置づけられるよう願っています。

あらためて申し上げるまでもありませんが、MIDIの普及・啓蒙はAMEIの存在に直結する大きなテーマです。今後に向けては、委員会の枠を越え、AMEI全組織を挙げて推進へのご支援を賜りますよう、宜しくお願いいたします。

Q 1 : 容器包装や製品のリサイクル法がマスコミを賑わしていますが、委員会での取り組み状況についてお聞かせ下さい。

A 1 : 先ず容器包装リサイクル法（略称）ですが、平成9年度から事業者にはガラス製、PET製の容器包装の再商品化（リサイクル）義務が生じました。平成12年度からは段ボール、その他紙及びその他プラスチック製の容器包装が追加となり、当協会の会員会社にも再商品化の義務が生じます。平成12年度からの再商品化の義務量の算出には、平成10年度に製品に使用された容器包装量が使用されますから、準備が必要になっています。

このような状況から環境問題研究部会では、本年当初より法律の内容を勉強しておりますが、その一環として9月の例会では、通産省リサイクル推進課の角井係長を講師に招き、勉強会を実施しました。

次に製品のリサイクル法関係ですが、「家電リサイクル法（略称）」が6月に成立し、平成13年度から施行されます。メーカーに廃製品の回収・再商品化の義務が生じるわけです。当初はテレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの4品目が対象になると聞いておりますが、次の段階ではパソコン、電子楽器等が追加候補として挙がっているとのこと。既に家電メーカーでは対応を始めており、家電製品協会では通産省の補助を受けて、家電リサイクル実証プラントを建設してリサイクル実験を始めております。

環境問題研究部会では製品設計にリサイクル技術を役立てられるように、10月にプラントの見学会を実施し、リサイクルとはどのようなものかを体験いたしました。

何れにしてもこれからの社会は、資源循環型を目指す必要があり、事業者には製品の回収・リサイクルが求められて来ると考えられます。

Q 2 : 有害物質への対応についてはどのようにされていますか。

A 2 : 環境ホルモンとかダイオキシンの問題は、因果関係とか内容が膨大なため即対応出来ませんので、身近な問題として今年度は、はんだについて勉強しております。ご承知のようにはんだは鉛と錫の化合物であり、鉛は有害物質の一つです。はんだは電気製品のほとんどに使用されており、電子・電気楽器も例外ではありません。

廃棄物処理法（略称）が改正され、本年6月から廃プリント基板で鉛を含むはんだが使用されたものの処理方法が改正強化され、今後処理費用のアップが考えられます。鉛フリーはんだの使用については技術的に難しい問題もありますが、既に実用化した家電メーカーもあります。はんだメーカー等の技術資料を集めて研究をしております。

Q 3 : 世界の安全規格の変動状況について

A 4 : 日本に電気用品取締法があるように、世界各国

には様々な安全規格が存在します。先進国は無論のこと、現在ではいわゆる中進国や発展途上国でも安全規格を作り、世界への仲間入りを進めています。規格の解釈能力や試験機関の評価能力に問題があり様々の混乱が発生していますが、落ち着くまでに

はまだ時間がかかるでしょう。その意味では現在「大変動期」と言えるでしょう。

特に中進国は安全の名のもとに通関規制を行う場合があり、営業的にもすばやい対応が求められるでしょう。

技術的に考えればアメリカのULやCSAを代表として、安全規格自体がIECに整合されつつあります。日本もIEC-Jと言う技術基準が作られIECへの整合化が進んでいます。

整理すると2つのキーワードになるでしょう。

1 中進国の台頭と通関規制

2 IECベースの規格に転換

私達はこれらの変動に対処すべく、事前の情報入手と会員へのブレイクダウンを進めています。

Q 5 : 今後とくに注目すべき規格改訂は？

A 5 : もっとも影響度が高いのはUL規格でしょう。現在UL469、UL813、UL1492、UL1270等を統一した新規格UL6500が存在します。UL469やUL813は2005年12月31日に消滅しますので、楽器やコマーシャル機器は2006年1月1日からこのUL6500に切り替えねばなりません。

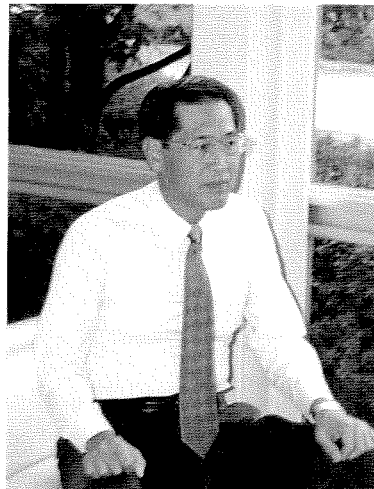
この時に大きな影響が予想されるのはプラスチック外装と考えられます。

たとえばUL認定の成形メーカーで成形されたプラスチック外装を使用せねばなりません。

このUL6500は現行UL規格にIECの考え方を取り入れて全く新しく作られた規格です。影響度も高いので今後注目していかなければなりません。

Q 6 : PL事故の発生は？

A 6 : 通産省の事故情報収集制度と言うものがあります。むろん収集結果は公表されますが最新の結果によれば電子楽器に関わる事故は報告されていません。またAMEIは家電製品PLセンターに入会し、万一にそなえて万全の体制を取っていますが、PLセンターからも電子楽器にかかわる苦情や相談、もちろん事故報告もありません。現在のところ良好な水準にあると考えています。



平成10年度 川島委員長

MIDI規格委員会応用研究部会 ミュージック・プロトコル・ワーキング・グループからの報告

本年の活動といたしましては、月々の会合を持ったほか、NAMM 1998と合わせて開催されたMMA総会や、国内においては、MIDI World 98におきまして、参加各社のご協力により用意された実験・実証用のプロトタイプを実際に動作させての、USBおよび1394関連のデモを含めたプレゼンテーションを行ってまいりました。

中でも、MIDI World 98におきましては、通産省の方々を始め、会員各社と日ごろお付き合いのある、測定機器や、部品メーカーの方々も広くお招きし、当業界の進んでいこうとしている方向性について、アピールを行いました。

幸い好意的なご理解を賜り、その後、これを契機に、当協会、および、会員各社に向けて、新たな具体的なご提案もいくつか頂戴しており、ますます、活気を帯びてまいりました。

参加各社の中からは、各々の会社の得意な分野における他団体からの情報の入手や報告などが活発に行われており、USB implementor's Forum, 1394 Trade Association, AESなどの団体における関連情報の交換も行われております。

次の世代のインターフェースは、電子楽器およびその関連機器の範疇のものにとどまらず、コンシューマAV機器などをはじめ、多種多様な異種装置群との接続を前提にした、高速なシリアルバスとなってまいります。これに向けて、他の工業界においても、活発な実験・開発・製品化についての各種の報道も、頻繁に見かけるようになってまいりました。

こうした情勢の変化を受けて、当ワーキンググループとしても、分科会形式でのタイムリーな会合の開催を可能としていくよう、運営形態を変化させてきております。実験・実証装置担当、展示・デモ担当、規格草案ドキュメント類担当など、会員各社の特徴を活かした形での、積極的な参画の道筋を、若干、整理しなおしてきております。

また、こうした、世界の電子・情報関連の工業界の動きに遅れをとることなく、デジタル・ネットワーク技術の、世界的な次なるステップへの流れへと着実に歩みを進めていくために、MMAはもとより、1394関連、USB関連、その他の工業団体など、ますます、他業界や他団体との連携も深めていかなければなりません。

このための活動の一環として、AMEIホームページに海外も含めた、他業界及び他団体へ向けての情報発信として英文によるAMEI MPWGの紹介ページも近々設置を予定しています。

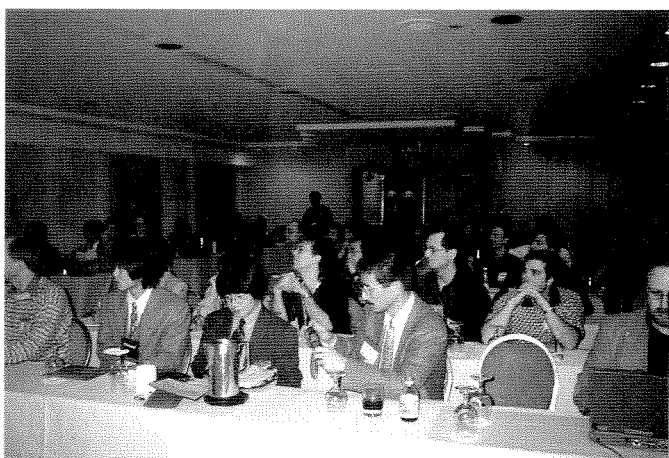
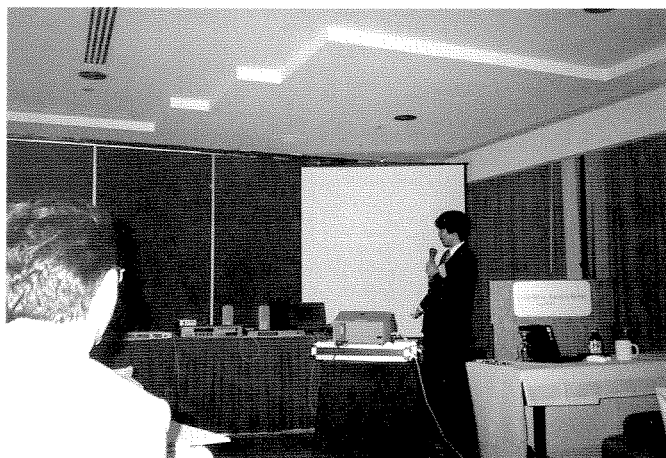
USB, 1394などの世界では、関連規格の追加や、補填規格の策定の時期にさしかかっており、当業界といたしましても、有益な提案を行い、こうした世界規格との高い親和性をもった新たなスタンダードの確立に努力していく段階にきたと言えます。

これに呼応し、近々、さらにいくつかの提案文書の作成に着手いたします。

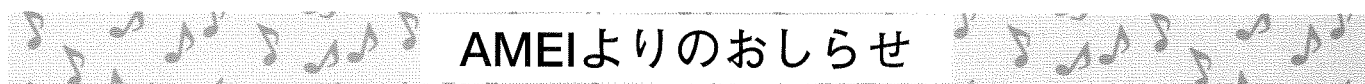
また、現行、次のデモの機会として予定されている1月開催のMMA meetingでの demo session への準備に、参加各社の皆様のご協力を賜りながら、鋭意、作業中です。



MIDI WORLD'98における接続実験



'98 MMA meetingでのデモセッション風景



MIDI 1.0規格書・日本語版

11月末発売 6,500円

会員名簿 (五十音順)

あ

株式会社アイ・オー・データ機器
有限会社アイシックス
株式会社アイデックス
アイワ株式会社
赤井電機株式会社
アカソフト
株式会社アスキー
アップルコンピュータ株式会社

い

株式会社石橋楽器店
株式会社インターネット

え

株式会社エクシング
エディロール株式会社
株式会社エム研

お

株式会社大阪有線放送社
有限会社オプ・インターラクティブ
株式会社音響総合研究所

か

株式会社楽販大阪
カシオ計算機株式会社
カスタムテクノロジー株式会社
株式会社カメオインタラクティブ
カモンミュージック株式会社
株式会社河合楽器製作所

き

ギガネットワークス株式会社
有限会社キュービックエナジー
株式会社キューブ

く

クラリオンソフト株式会社

こ

株式会社コナミコンピュータエンタテインメント東京
株式会社コルグ
コロムビア音響工業株式会社

さ

株式会社サンワード

し

株式会社シーティーエー
株式会社シーミュージック
島村楽器株式会社
シャープ株式会社
学校法人尚美学園

す

株式会社ズーム
株式会社鈴木楽器製作所

せ

セイコーインスツルメンツ株式会社
株式会社セガ・ミュージック・ネットワークス

そ

ソニー株式会社

た

株式会社タイカン
株式会社第一興商
株式会社タイトー
大日本印刷株式会社
株式会社タムラ製作所

て

ティアック株式会社
TDK株式会社
株式会社電波新聞社

と

東映ビデオ株式会社
東京サウンド株式会社
凸版印刷株式会社
株式会社友ミュージック

に

株式会社日光堂
ニフティ株式会社
日本アイビーエム株式会社
日本コロムビア株式会社
日本シンセサイザープログラマー協会
日本電気株式会社
日本ビクター株式会社

は

パイオニア株式会社

ひ

株式会社P F U
ビクターテクニクスミュージック株式会社
ビクターレジャーシステム株式会社

ふ

株式会社フェイス
フォステクス株式会社
不二音響株式会社
富士通株式会社
株式会社ブライイトインターナショナル
株式会社ブリマ楽器

へ

ベスタクス株式会社

ほ

株式会社朋栄

ま

マスターネット株式会社
松下通信工業株式会社
松下電工株式会社
松下電器産業株式会社

み

有限会社ミュージカルプラン
株式会社ミュージックネットワーク
株式会社ミュージック・シーオー・ジュピー

も

株式会社モリダイラ楽器

や

株式会社山野楽器
ヤマハ株式会社
財団法人ヤマハ音楽振興会
ヤマハミュージックトレーディング株式会社
株式会社ヤマハミュージックメディア

ら

株式会社ラグナヒルズ
ラムズ株式会社

り

株式会社リットーミュージック
株式会社リムショット

ろ

ローランド株式会社

わ

株式会社ワキタ

〈以上、会員会社90社〉

〈賛助会員〉

株式会社大阪村上楽器
株式会社ミュージックトレード社
有限会社ミュレイディア
株式会社ヤスダコーポレーション
株式会社ラプラス

AMEI NEWS Vol.8 / 1998.11.20

社団法人音楽電子事業協会 機関誌

発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F

TEL. 03-5226-8550 FAX. 03-5226-8549

発行人：中田 健

編集人：福田 誠 (広報委員会)

編集協力：株式会社 ラプラス

ホームページアドレス：http://www.amei.or.jp/